



®環境省

エコアクション21

認証番号0010076

2024年度
環境活動レポート

(2024年1月1日～12月31日)



発行日：2025年3月13日

福島三洋プラスチック工業株式会社

〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町境96番地

TEL 0248-62-3883 fax 0248-62-4448

目次

SUN-PLA

- 1、環境経営方針
- 2、組織の概要
- 3、取組の対象範囲と対象活動
(環境組織図)
- 4、環境経営目標とその達成状況と評価
- 5、環境経営活動計画とその取組結果と評価
並びに次年度の取組内容
- 6、環境経営目標(中期目標)
- 7、環境経営活動の具体的内容
- 8、環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟の有無
- 9、代表者による全体評価の見直しの結果



分別して業者引き取り

1、環境経営方針



福島三洋プラスチック工業株式会社

環境経営方針

<基本理念>

福島三洋プラスチック工業（株）は地球環境の保全が人類共生の最重要課題と認識し、樹脂成形品の生産事業活動を行うにあたり、地域社会、顧客との相互信頼に基づいた美しい環境づくりに寄与する活動を企業目的の一つとします。

<活動方針>

事業活動を通じ、廃棄物の削減・リサイクル、省資源、省エネルギーなど、健全な環境保全の継続的な改善・向上を図り環境に配慮した製品作りに努めます。
事業活動に関わる環境関連法規、条例、協定などを遵守します。

<行動指針>

- 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減に努めます。
- 廃棄物の削減に努めると同時に廃棄物の分別によるリサイクル化を推進します。
- 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
- 適正な化学物質の管理に努めます。
- 地域及び社会に対して、環境保全活動に開かれた会社を目指します。
- 全社員参加で取り組み、社内外に公表します。

制定日：2013年7月23日

改訂日：2018年4月20日

福島三洋プラスチック工業株式会社

代表取締役 石井 明

2、組織の概要



2-1、事業所名及び代表者名

- 福島三洋プラスチック工業株式会社
- 代表取締役 石井 明

2-2、事業の概要

- 精密プラスチック射出成形
- シルク・パット印刷
- 組立加工

2-3、所在地と連絡先(担当者)

- 住所 : 〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町境96番地

(連絡先 : TEL 0248-62-3883 FAX 0248-62-4448
E-mail : hinkan@f-sanyo.co.jp)

- 担当者 : 環境管理責任者 星 和幸

2-4、事業規模

- 創業 : 昭和59年4月18日
- 資本金 : 1000万円

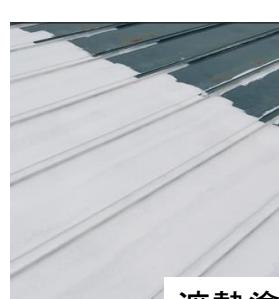
- 敷地面積 : 3000 m²
- 事業所の延べ床面積 : 1972 m²

- 売上高と従業員数 :

事業年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
売上金額 (百万円)	326	275	380	337	368	275
従業員数 (人)	28	27	26	26	26	24

注)売上金額は、当社会計年度(当年1月～12月まで)による。

2-5、次回更新予定日 : 2026年3月



遮熱塗装実施

◆福島三洋プラスチック工業株式会社◆

<https://www.f-sanyo-plastic.jp/>

3. 取組の対象範囲と対象活動 (環境組織図)



3-1、認証の対象範囲

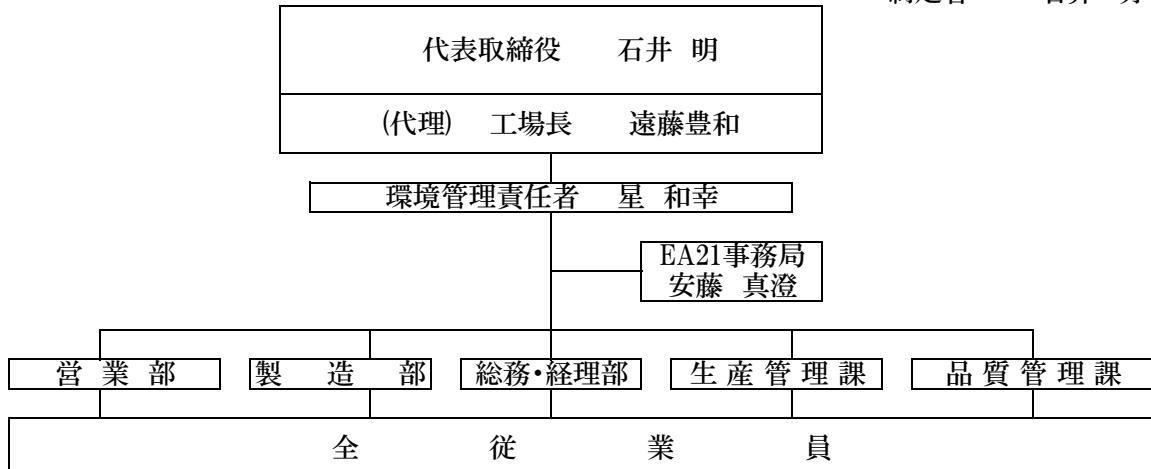
- 福島三洋プラスチック工業株式会社の全組織

3-2、認証の対象活動

- 精密プラスチック射出成形、シルク・パット、組立加工の全活動

環境組織図

制定日： 2013年7月19日
改訂： 2020年3月12日
制定者： 石井 明



	役割	・	責	任	・	権	限
代表者 取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営レポート・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする ・効果的で必要十分な実施体制を構築する ・代表者による全体の評価と見直しを実施 						
(代理) 工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 代行業務 						
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理(実施体制の構築) ・環境関連法規等の取りまとめと遵守評価の実施 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・全体への環境方針の周知 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・全従業員に対する教育訓練の実施 ・緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 						
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、事務局 ・環境経営関連必要データーの集計と作成 ・環境関連法規等の届出と確認 ・環境経営活動の実績集計 ・環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 						
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と各自の役割・責任及び環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 						

4. 環境経営目標とその達成状況と評価



基準年度2023年(令和5年)度 東北電力(株)(実排出係数0.385(kg-CO₂/kWh))

環境経営目標	実績値	目標値	実績値	評価	目標値
二酸化炭素排出量					
電気 (kg-CO ₂)	295,628.66 (80.0%)	292,672.37	207,081.49 (92%)	✓	205,010.68
ガソリン (kg-CO ₂)	9,015.60 (2.4%)	8,925.44	1,523.17 (1%未満)	✓	1,507.94
軽油 (kg-CO ₂)	64,098.00 (17.4%)	63,457.02	16,079.23 (7%)	✓	15,918.44
灯油 (kg-CO ₂)	730.97 (0.2%)	723.66	373.50 (1%未満)	✓	369.77
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	369,474.00 (100%)	365,779.26	225,057.39	✓	222,806.82
廃棄物の削減 (kg)	2870.00	2841.30	5600.00	OK	5544.00
水資源投入量の削減(m ³)	339.00	335.61	286.00	✓	283.14

化学物質使用量

現状維持として適正管理とする

リサイクル向上

リサイクルペレット等再生可能材料の選定

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
売上原単位(百円)	2.4	2.1	1.8	1.7	1.9
電気使用量kWh	663,594	783,373	621,140	642,671	537,874



…十分に取り組んだ
全社員で取り組みが行われた結果と評価



…取組不十分
勉強不足と今後の課題



…ある程度取り組んだ
一部社員が取り組んだ結果と評価

5. 環境経営活動計画と その取組結果の評価並びに次年度の取組内容

✓ …十分に取り組んだ

👍 …ある程度取り組んだ

✗ …取組不十分(未実施)

環境活動	項目	取組結果	評価	次年度の取組内容
CO2排出の削減	電気代削減	✓	昨年は、屋根への遮熱塗装などしてある程度は削減されたと思いますが、売上比率は少し上がりました	最低限の冷房や暖房で過ごしたいと思います
	ガソリン使用量		ハイブリット車へ切り替えたのが大きく影響しました	このまま継続したいと思います
	軽油使用量		納品回数の削減が出来たと効率の良い運転が数字にも表れました	
	灯油使用量		昨年よりエアコンの併用で使用量を削減しました	検査などどうしても室温が上がらないときは使用は致し方無いので無駄のないように取り組んでいきます
廃棄物の削減	廃プラスチック産業廃棄物	👍	引取り業者への量は削減しましたが、倉庫とて使用していた部屋の木材を廃棄した為、木くずが増えましたが、本業の廃棄物に関しては、削減出来ました	このまま継続したいと思います
水資源投入量の削減	成形機、温調機冷却	✓	昨年度より使用量が減りました 機械の稼働率が下がったためだと思います	稼働率が下がっての結果だったので次年度も継続とします
	上水道使用量	✓		
化学物質	現状維持として適正管理	✓	有害物質を調査しSDS等で安全管理を確認して無駄の無いよう購入した。	次年度も継続とします
リサイクル	分別方法を見直し効率化を図る	✓	昨年同様、廃プラスチックでの有価物を選別して業者引き取りを始めた、また、リペレット出来る物は積極的に行い再生可能なかぎり使用した。	次年度も継続とします
総評	二酸化炭素排出量は昨年度より約40%削減出来ました			
	成形現場の屋根へ遮熱塗装を行いました 外気温が上がっても室内は一定の温度管理が出来たと思います エアコンは使用しましたが、必要最低限で済んだと思います また、遮熱フィルムも同時に行い、朝の直射日光も気にならないと 製造現場より報告を受けました			

6、環境経営目標



SUN-PLA

2025.2.5 石井

□取組期間：2024年1月～12月

□単年度目標					
項目	2024年度 目標値	2024年度 実績値	2025年度 目標値 前年度より-1%		
二酸化炭素排出量 の削減 kg-CO ₂	365,779.26	225,057.00	222,806.43		
廃棄物の削減 %	21.00		13.00	原材料に対する廃棄物の 割合 12.87	
水資源投入量の削減 m ³	335.61		286.00	283.14	
化学物質使用量	現状維持として適正管理とする				
リサイクル向上（注釈） (再生可能材料使用)	リサイクルペレット等再生可能材料使用率向上				
・CO ₂ 排出係数、電力=0.385(kg-CO ₂ /kWh(東北電力(株) 2023年度実績					

項目	削減目標 1 %			
	中長期目標（4年）			
2026年	2027年	2028年	2029年	
二酸化炭素排出量 の削減 kg-CO ₂	220,578.37	218,372.58	216,188.86	214,026.97
廃棄物の削減 %	12.74	12.61	12.49	12.36
水資源投入量の削減 m ³	280.31	277.51	274.73	271.98
化学物質使用量	現状維持として適正管理とする			
リサイクル向上（注釈） (再生可能材料使用)	リサイクルペレット等再生可能材料使用率向上			

(注釈)

リサイクルペレットとは？

弊社で扱っている樹脂は熱可塑性樹脂です 製品などを粉碎機にかけてペレットに戻しても一度、製品にする事です

プラスチックには、熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の2種類があります。それについて、特性を解説します。

熱可塑性樹脂

熱可塑性樹脂とは、ガラス転移温度もしくは融点に達したときに軟化し、再び冷やすと固くなる性質をもった合成樹脂のことです。温度によって液体と固体の状態を行き来できる特性をもっています。

熱可塑性樹脂は、固まるとき分子に一定の構造化がみられる結晶性樹脂と、結晶化せずに不規則な構造のまま固まる非晶性樹脂とに分けられます。ポリエチレン、ポリプロピレンなどは結晶性樹脂、塩化ビニル樹脂やポリカーボネートなどは非晶性樹脂です。

熱硬化性樹脂

熱硬化性樹脂とは、加熱すると硬化する樹脂のことです。加熱すると一度は溶けるものの、一定の温度を超えると化学反応のために固まり、冷めたあとに再加熱をしても溶けることがありません。熱可塑性樹脂のように、液体と固体の状態を往復することができなくなります。その分、機械的強度や耐熱性が高く、高温下で利用できるのがメリットです。

熱硬化性樹脂には、ポリウレタン、エポキシ樹脂、メラミン樹脂などがあります

7. 環境経営活動の具体的な内容

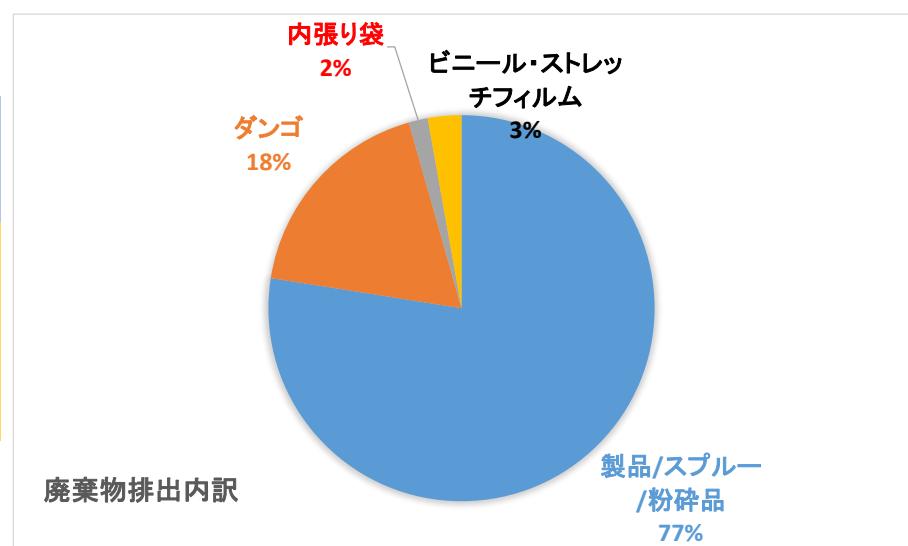


環境経営活動	活動項目	活動の具体的な内容	
CO2排出の削減	電力使用の削減	・不要照明の消灯	通年
		・照明器具の改善(不要な蛍光灯を外す)	通年
		・OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
		・冷暖房の適正温度管理	通年
		・冷暖房機器清掃	7月、11月
		・各種設備の保守、点検	通年
		・各種設備の効率的な運転	通年
	エコ運転の実施	・エコドライブ教育研修	9月
		・アイドリング時間の削減	通年
		・急発進、急加速はしない	通年
廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底	・タイヤの空気圧を定期的に調整する	奇数月
		・経済速度の遵守	通年
		・分別の徹底	通年
	紙使用の削減	・分別方法を判りやすく掲示	通年
		・廃棄物置場の整理	通年
		・コピー数量の削減	通年
		・OA紙の資源化	通年
		・廃棄物の記録	通年
総排水量の削減	水道使用量の削減	・洗車時・手洗い時の節水	通年
		・水の強さを調整(給水栓を絞る)	通年
		・こまめに水を止める	通年
化学物質使用量の適正管理	化学物質使用量の適正管理	・管理対象化学物質のリストアップ	通年
		・管理対象化学物質の購入量把握	通年
		・管理対象化学物質の適正管理、保管	通年
地域社会貢献	地域・社会貢献活動	・地域清掃活動への参加	通年
		・全社員が家庭で、節電・節水・ゴミ分別を実施する	通年

2024年度 廃棄物排出 内訳

160t
原材料として購入
21.8t

製品/スプレー/粉碎品/樹脂ダンゴとして
約14%排出しました



8、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無



2025年1月29日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。
また、関係当局からの違反等の指導、あるいは、外部からの訴訟等についても、会社創業以来一度もありません。

9、代表者による全体評価の見直しの結果

(1) 全体の確認・評価

項目	報告内容(要旨)	代表者による評価
環境目標の達成状況	廃棄物処理も有価物で引取りがかなり進んだことにより今年度は、ほとんど一昨年度の処分だけで済みました 排出量も昨年より7%削減出来ました	廃棄物の排出量が具体的になり回収業者への引取りがより一層、強化された結果だと思います
法規の遵守状況	2025年1月29日に遵守できていることを確認しました	法改正の情報はいち早く確認してください
外部からの苦情・要望	外部からの苦情・要望はありませんでした	近隣住民に迷惑を掛けぬよう、未然に防げることに留意せよ。
前回の指示事項の取組状況	前回の指示事項がそのまま継続されています	継続してください

(2) 代表者による環境経営方針等の変更の必要性並びに指示事項

項目	変更要否	指示事項等	対応者	対応内容
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	来年度も同じ方針とする	全社員	経営内容などは変化しておりませんのでこのまま継続とします
環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	今年度に準じて変更する	全社員	廃棄物などは選別可能な限り有価引取りへ出すように致します
環境経営活動計画	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	来年度も同じ計画とする	全社員	活動内容は今年度と同じ内容とします
実施体制	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	来年度も同じ計画とする	全社員	活動内容は今年度と同じ内容とします

全体評価に関して	材料代、電気代など物価高騰が続いているので尚一層のこと、経費削減へ努めるようにしてください	全社員	効率化を一層強化します
----------	---	-----	-------------

2025年2月

代表取締役 石井 明